

【速報】民間企業設備投資動向調査
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による
国内建設投資計画及び機械設備投資計画への影響
アンケート調査結果（2020年6月調査）

一般財団法人 建設物価調査会

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行によって、2020年7～9月期以降の日本国内の建設投資計画及び機械設備投資計画にどのような影響がもたらされたか、アンケート調査を実施し、その結果について速報としてとりまとめた。

■調査条件■

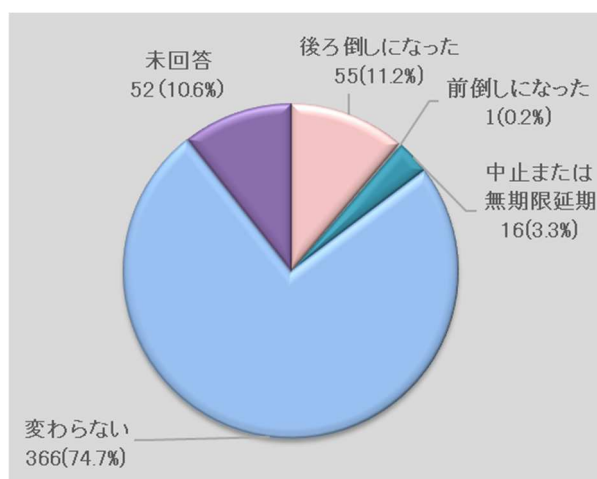
- ・調査時点：2020年6月1日
- ・調査対象：1,884社
- ・調査方法：第155回民間企業設備投資動向調査の調査対象企業に郵送及びメールで送付・回収
- ・回収数：490社（2020年6月23日時点）
- ・回収率：26.1%（2020年6月23日時点）

■調査結果■

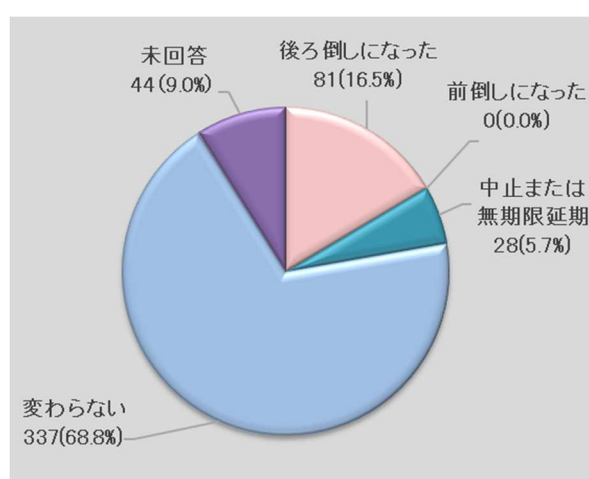
1. 建設投資計画・機械設備投資計画への影響

2020年7～9月期以降の建設投資計画は、「変わらない」と回答した企業が366社（回答企業の74.7%）、「後ろ倒しになった」「中止または無期限延期」が合わせて71社（同14.5%）、「前倒しになった」が1社（同0.2%）となった。

2020年7～9月期以降の機械設備投資計画は、「変わらない」と回答した企業が337社（回答企業の68.8%）、「後ろ倒しになった」「中止または無期限延期」と回答した企業は合わせて109社（同22.2%）だった。一方、「前倒しになった」と回答した企業はなかった。



図－1.建設投資計画への影響



図－2.機械設備投資計画への影響

【プレス・リリース】

【2020年3月調査結果との比較】

前回2020年3月調査結果（確報）と今回2020年6月調査結果（速報）を比較すると、以下の通りとなった。建設投資計画、機械設備投資計画ともに「変わらない」と回答した企業は、前回調査と比較して大幅に減少した。一方、「後ろ倒しになった」と回答した企業の割合は大幅に増加している。

※2020年6月調査で選択肢に追加した「中止または無期限延期」は「後ろ倒しになった」に含めて集計している。

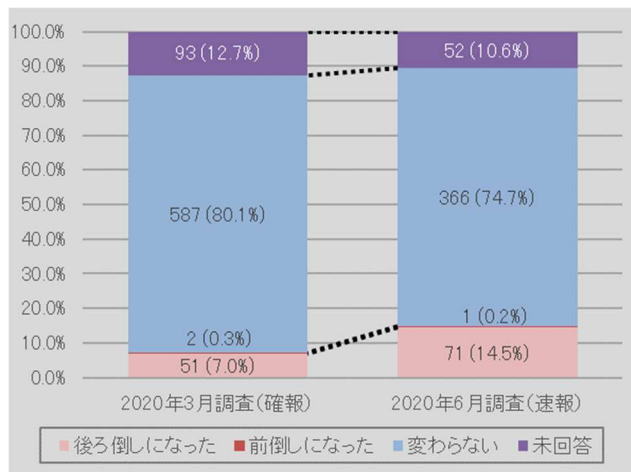


図-3. 前回調査結果との比較（建設投資計画）

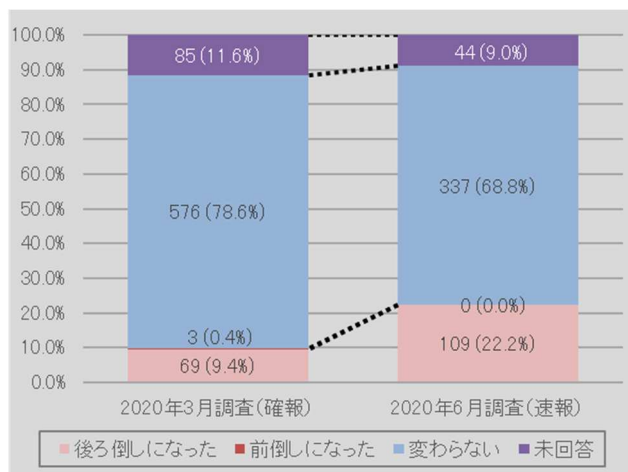


図-4. 前回調査結果との比較（機械設備投資計画）

2. 投資計画が「後ろ倒しになった」要因

建設投資計画や機械設備投資計画が後ろ倒しになった要因は、以下の通りとなった。建設投資計画、機械設備投資計画ともに「キャッシュフローの確保のため」や、「先行きが不透明」といった回答が多かった（複数回答可）。

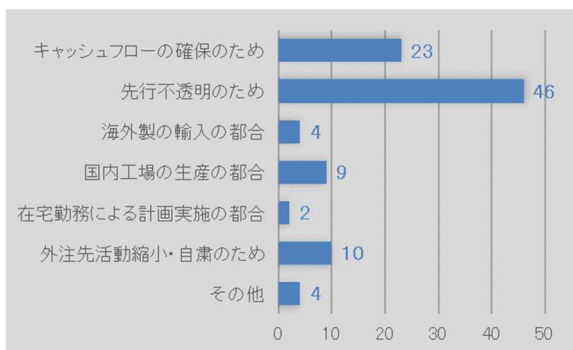


図-5. 建設投資計画が後ろ倒しになった要因

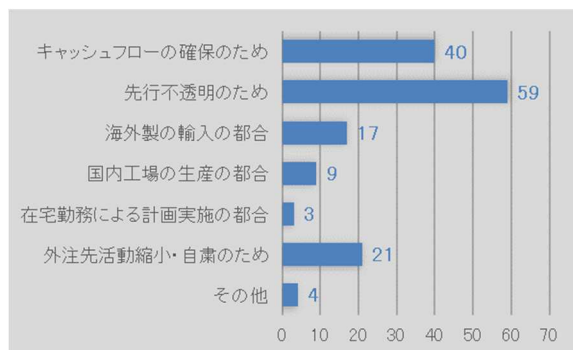
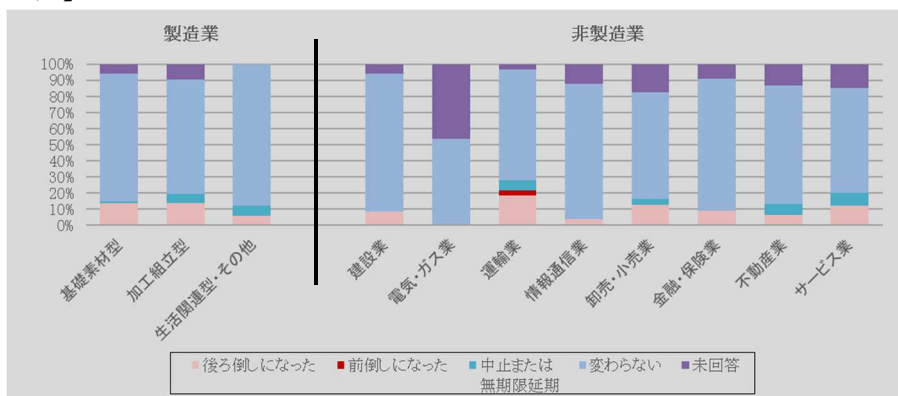


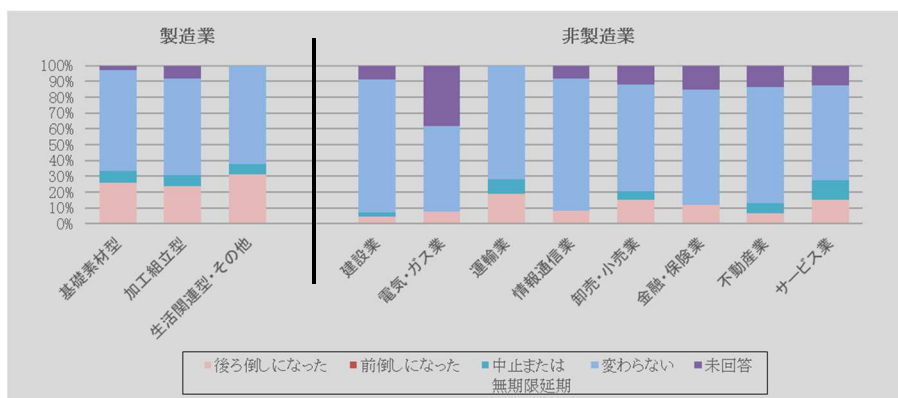
図-6. 機械設備投資計画が後ろ倒しになった要因

3. 産業別の建設投資計画・機械設備投資計画への影響

産業別の建設投資計画・機械設備投資計画への影響は、以下の通りとなった。製造業と非製造業のうち、製造業全般で「後ろ倒しになった」「中止または無期限延期」と回答した企業の割合が建設投資計画・機械設備投資計画ともに多かった。非製造業では、運輸業・サービス業において、投資計画が「後ろ倒しになった」「中止または無期限延期」と回答した企業の割合が多かった。



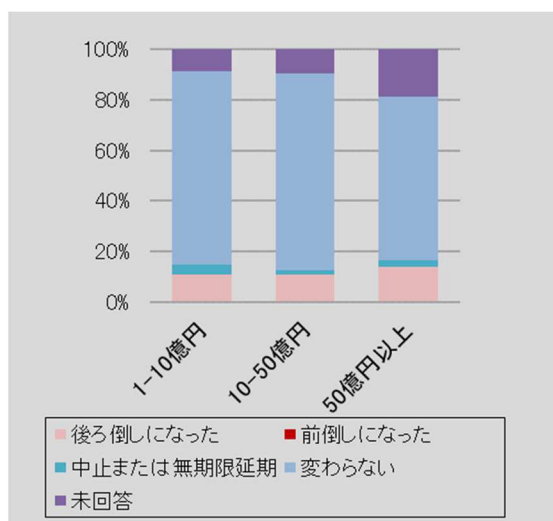
図－ 7.産業別の建設投資計画への影響



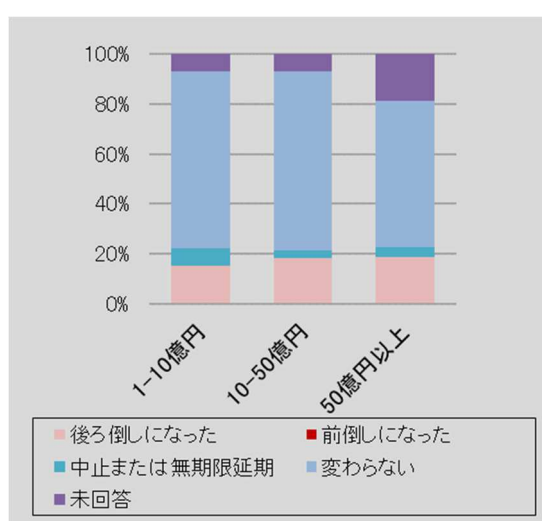
図－ 8.産業別の機械設備投資計画への影響

4. 資本金別の建設投資計画・機械設備投資計画への影響

資本金別の建設投資計画・機械設備投資計画への影響は以下の通りとなった。建設投資計画・機械設備投資計画ともに 50 億円以上の企業において、投資計画が「後ろ倒しになった」「中止または無期限延期」と回答した割合が多かった。



図－ 9. 資本金別の建設投資計画への影響



図－ 10. 資本金別の機械設備投資計画への影響

【プレス・リリース】

確報につきましては、第 155 回民間企業設備投資動向調査（2020 年 6 月調査）の結果と合わせて当会ホームページにて公表予定です（8 月上旬公表予定）。

【一般財団法人 建設物価調査会ホームページ 民間企業設備投資動向調査】

<https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/minkan/>

【お問い合わせ先】

一般財団法人 建設物価調査会 総合研究所 経済研究課

e-mail : econ@kensetu-bukka.or.jp